

大項目評価（案）

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置

評価結果 A（順調に進んでいる）

評価結果

評価結果	S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に進んでい る	B おおむね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れてい る
------	----------------------	-------------------	-----------------------	--------------	-------------------

※A=小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果（評価した項目数）

項 目	評価 項目数	ウェイトを考 慮した 項目数	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 市民病院としての役割の発揮	4	8			8		
2 専門性の高い医療の充実	3	5			5		
3 市民・患者と共に支える地域医療	3	4			4		
4 地域医療機関との連携協力の推進	3	4			4		
5 安全管理を徹底した医療の提供	4	5			5		
6 医療の標準化と診療情報の分析による質の改善及び向上	4	4			4		
7 臨床研究及び治験の推進	1	1			1		
合 計	22	31			31		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

特になし。

②その他考慮すべき事項

6－（1）クリニカルパスの充実と活用【3】

クリニカルパス数・適用率は、中央市民病院は目標が達成できていないが、電子カルテ導入によりクリニカルパスそのものを見直したという移転時の特殊要因を考慮し、自己評価のとおり、計画を順調に実施していると判断した。

6－（4）臨床評価指標等【3】

退院サマリーの期限内提出は、中央市民病院は前年度に比べて実績が下がっている。但し、中央市民病院の移転に伴いシステムの変更があり、一時的に減少したという特殊要因があること、1～3月の提出率は90%を超えたこと、西市民病院については年間を通じて提出率90%を超えていることなどを総合的に考慮し、自己評価のとおり、計画を順調に実施していると判断した。

○評価にあたっての意見、指摘等

- ・これからは、DPCの分析やクリニカルパスなど診療情報による経営マネジメントが重要になってくる。
- ・経費が増加していく中で、高額な医療機器については、減価償却や機器のメンテナンスなど、導入の効果（コストパフォーマンス）を考えていく必要がある。
- ・今後も患者満足度調査を実施していくとのことだが、患者の協力を得るためには、結果がどう活かされたかのフィードバックの有無が重要である。今後、患者にわかりやすく調査の結果を知らせる努力が必要である。
- ・逆紹介率が高くなっているが、患者が逆紹介という制度自体を理解するよう丁寧に説明をしていく必要がある。
- ・特に医師が提出しやすい環境となるようにシステムを改善し、インシデントレポートに関する教育・研修をきっちり行っていく必要がある。
- ・退院サマリーは臨床研修指定病院ということもあり、引き続き、100%になるようきっちりしたほうがいい。
- ・市民健康ライブラリーは、場所を変えて設置を検討中とのことであるが、出来るだけ早く実現させてほしい。
- ・ボランティアを行っている人と病院職員が直接、意見交換を行う場を設けてほしい。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (順調に進んでいる)

評価結果

評価結果	S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に進んでい る	B おおむね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れてい る
------	----------------------	-------------------	-----------------------	--------------	-------------------

※A=小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果 (評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウェイトを考 慮した 項目数	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 すべての職員がプロとして活躍し、やりがいがある病院	5	6			6		
2 人材の成長を促進する人事給与制度と育成プログラムの充実	2	3			3		
3 教育病院として医療に携わる人材の育成への貢献	2	2			2		
4 外部評価の活用及び監査制度の充実	2	2			2		
5 環境にやさしい病院づくり	1	1			1		
合 計	12	14			14		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

特になし。

②その他考慮すべき事項

1- (1) 専門性の高い資格取得に向けた研修【3】

看護師が質的に向上するための資格取得もきちんと制度として確立されていることは評価できる。

○評価にあたっての意見、指摘等

- ・単にCS (患者満足) だけでなくES (職員のやりがい) を考えていくことが重要である。
- ・看護師の資格取得のための留学等に当たり、看護部のニーズと本人の希望のマッチングをどのように行っていくのか、病院の戦略にあわせて資格取得をすすめていく必要がある。
- ・DPCを活用した経営、電子カルテの情報を上手に管理するため、診療情報管理士をさらに増やし、必要な部署に効果的に配置し、今後、活用する必要がある。
- ・育児短時間勤務制度など実施されているが、他病院では、地域住民がファミリーサポートチームを作って病院に勤務するスタッフをサポートしているような先進的な事例もある。こういった取り組みも今後検討してはどうか。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

評価結果 A (順調に進んでいる)

評価結果

評価結果	S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に進んでい る	B おおむね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れてい る
------	----------------------	-------------------	-----------------------	--------------	-------------------

※A=小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果 (評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウェイトを考 慮した 項目数	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 資金収支の均衡	3	6		2	4		
2 質の高い経営ができる病院	3	4			4		
合 計	6	10		2	8		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

○小項目評価が4 (計画を上回って実施) の項目は次のとおりであった。(【 】は小項目評価の結果及びウェイト付け)

1- (1) 安定した経営基盤の確立【4・ウェイト2】

中央市民病院の移転があり、病床が減少したにもかかわらず、目標をはるかに越えた実績をあげ、経常利益がプラスになったことは、職員の方々がかなり努力された結果であるということが高く評価した。

②その他考慮すべき事項

1- (2) 収入の確保 (組織及び人員配置の弾力的運用)【3・ウェイト2】

入院単価などが軒並み上がっている理由として、相当高度な検査・手術を行っている結果であり、各病院の努力が現れていることは評価できる。

2- (1) ガバナンスの確立による体制の整備【3・ウェイト2】

両病院とも院長が非常に努力されている。看護師も看護部長を中心に良くがんばっているし、恒常的に院長が医師を引っ張っていることは評価できる。

○評価にあたっての意見、指摘等

- ・診療報酬の改定や中央市民病院の移転などの特殊要因を除くと、どれくらいの経営状況であったのか考えることが大切である。最終年度の計画と比べて見込みを平準化するとどうなるか一度把握しておくことが大事。
- ・未収金対策をきっちりしておく必要がある。
- ・中央市民病院の経費比率が上がっている。固定費が増加しているのではないか。診療報酬改定で診療単価が下がったら一気に収支が悪化することが考えられる。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

評価結果 A (順調に進んでいる)

評価結果

評価結果	S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に進んでい る	B おおむね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れてい る
------	----------------------	-------------------	-----------------------	--------------	-------------------

※A=小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果 (評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウエイ トを考 慮した 項目数	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 PFI手法による中央市民病院の再整備	1	2		2			
2 医療産業都市構想への寄与	1	1			1		
合 計	2	3		2	1		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

○小項目評価が4 (計画を上回って実施) の項目は次のとおりであった。(【 】は小項目評価の結果及びウェイト付け)

1 PFI手法による中央市民病院の再整備【4・ウェイト2】

安全に移転するための計画を立てたとはいえ、計画を大幅に上回る収益を上げるとともに、新病院への移転・開院を安全かつ円滑に行うことができたことを高く評価した。

②その他考慮すべき事項

特になし

○評価にあたっての意見、指摘等

・PFIに関しては、SPC とのリレーションシップ、コミュニケーションが重要。PFIの成功例として進んでほしい。これからも引き続きSPCとの関係を良好に築いていけるかが大事である。